

## 救急車が…… - 西日本防災システム

こんな事件がありました。横浜市港北区の60歳代男性からの119番で出動した港北消防署の救急隊が昨年12月、市消防局消防司令センターの誤った指示で、男性宅の2軒隣にある同姓の別人宅に到着してしまい、その約30分後に男性宅に行っていたことがわかりました。悲しいのですが、男性は発見時心肺停止状態で、搬送先の病院で死亡が確認されました。市消防局の説明によりますと、男性から「心臓の具合が悪い」と119番があったのは昨年12月17日昼頃です。固定電話から通報があった場合、同消防司令センターのシステムには、登録してある世帯主と住所が自動的に表示される仕組みになっています。センター担当者は、男性の氏名などを把握していましたが、男性宅と同じ番地で、2軒隣にある同姓の人の家を、誤って出動先として指示してしまいました。救急隊は通報から6分後に指示のあった家に到着しましたが、1階が施錠されており、別の消防隊員らと2階窓から家の中に入りました。ですが、家は留守で、通報のあった番号に電話しても家の電話が鳴らないことから、間違いが判明したようです。救急隊は通報から約36分後に本当に搬送を望んでいた男性宅に到着し、倒れて、すでに心配停止状態の男性を発見しました。同姓のお宅が留守であったことがさらに間違いを発見する時間を遅らせた結果になったようです。誰が悪いとか誰の責任だとか、では無く、二度とあってはならん事故だと思います。電話をされたおじいさんの無念の気持ちは計り知れません。どうか どうか安らかにお休み下さい。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

